

# 行雲流水

No.247 令和4年9月26日発行

「おのれの力」を試せたかな？

校長 寒河江 正人

さて、生徒諸君。

**9月21日（水）**に実施された「**3年生の実力テスト**」からは、**4日**が経過した。  
そして、**9月17日（土）、18日（日）**に新型コロナ「第7波」のなか開催された  
2年生・1年生の「**北村山中中学校新人総合体育大会**」からは、**一週間**が経過した。

真剣に向き合った**対象**は、それぞれ違えども、「**おのれの力**」を試すことはできたかな？  
「**生徒諸君一人ひとりそれぞれ**」が思い描いた「**自己実現の姿**」は、達成できたかな？

「**今回は、こんなに問題が解けたっ！！ やったぞ！ テストの結果が楽しみだっ！**」  
「**やったあ！ ついに勝てたっ！ 念願の優勝だ！**」  
「**あの学習・あの練習の成果（効果）が発揮できたっ！ 苦しくても頑張ってた良かった！**」  
最高にうれしい。気持ちが高まった。これから次への「やる気」が出てきた。  
歓喜の表情・姿が伝わってくる。おめでとう！おめでとう！！

一方、「**思い描いたとおりの成果**」が得られなかった生徒もいるのもまた現実だ。  
おつかれさん、おつかれさん。ごくろうさん、ごくろうさん。  
たとえ、思い描いたとおりにならなくても、がんばって**向き合った事実**は、うそではない。

最も大切なことは、「**勝って驕らず、負けて腐らず。**」「**顔を上げて、胸を張って、前進せよ！**」

「**今回の経験で、自分は何に気づき、何を学んだのか。**」「**さらなる改善すべきことは何なのか。**」  
**謙虚に振り返り、自己分析して、次へのアクション（行動）を迅速に具体化することだ！**  
**勝って驕り高ぶり、謙虚さを見失う者は、愚か者なり。いずれ、必ずしくじる。そして、滅びる。**  
これは、洋の東西を問わず、**われわれ人類の歴史がすでに証明している**ではないか。

ただし、大人も、子どもも、私たち一人ひとりに「**与えられた時間**」には、**限りがある。**  
その与えられた「**かけがえのない限られた時間の範囲**」の中で、  
「**適正な場所**」で、「**適正な方向**」に向かって、  
「**適正な方法（質と量）**」で積み上げられた「**努力は、決して結果を裏切らない。**」のだ。

そこに「**気が付き、学ぶ**」ための**機会（チャンス）**が「**テストや試合の場**」なのである。  
それでこそ、生徒諸君一人ひとりの**その人なりの活躍・成長が成し遂げられる**というものだ。